

コロナウィルス感染症に伴う部活動に関して

令和2年5月15日

都立光丘高等学校生徒指導部

本校では多くの生徒が部活動に加入し、様々な部活動が成果を上げるとともに充実した高校生活の一助となっているところです。

しかし、昨年末から発生し、流行している新型コロナウイルス感染症の感染防止のために3月以降、学校が臨時休業となりました。それと同時に部活動が行えなくなり、生徒の皆さんにとっては大会、試合、練習などの場が失われることを余儀なくされました。その中で、全国高等学校体育連盟（高体連）は4月26日に全国高校総合体育大会（インターハイ）を中止することを決定しました。記者会見の場では「インターハイは高校生最大のスポーツの祭典として夢の舞台であり、中止の判断の向こうには大きな悲しみと目標を失った高校生の姿があることは痛いほど承知している」と中止が苦渋の決断であったことを述べています。また、全国高等学校野球連盟（高野連）も夏の甲子園大会開催に向けた検討がなされているところです。

インターハイの中止が感染症予防のためとはいえ、運動部に所属する3年生の皆さんにとっては、最後の活躍の場が失われることとなりました。また、文化部においても最後の発表の機会が失われることが今後想定されます。

生徒指導部としては非常に心を痛めています。しかし、皆さんが取り組んできた諸活動は生涯にわたり取り組んでいくことができるものです。今後につなげてほしいと願っています。